

2020年度活動報告

はじめに

2020年度をもって引退馬協会は設立から11期を終了しました。支えてくださっている会員の皆さま、ご寄付やボランティアを通じてご支援いただいている皆さまに、心より御礼申し上げます。

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、馬とのふれあいイベントやセミナーなども軒並み中止せざるを得なくなりました。預託先でも感染拡大防止の観点から訪問を受け入れることができなくなるケースがあり、会員のみなさまもなかなか馬と接したり馬について知る機会を設けることができず、残念な思いをされたことと存じます。

そんな状況ではありましたが、おかげさまをもちまして、ご寄付や新規のご入会者は増え続け、フォスターホースとして響輝(ロードシンフォニー)、プリサイスエンド、ツクバアズマオー、エイシンルーデンス、ナイスゴールド、コテツ(ルージュビクトリー)をフォスターホースとして受け入れることができたのも、みなさまのご支援があつてこそと、改めまして心より感謝申し上げます。

各事業に関する詳細を以下に報告いたします。

1)馬と人のふれあい事業

この事業は、フォスターホース(以下、FHと記載)たちの体験騎乗や、手入れ、ツアーなどでのふれあいを通じて馬の温もりに接し、馬という動物についてより知っていただき、親しんでいただくために行っています。

千葉のフォスターホースの預託先である乗馬倶楽部イグレットで重要なイベントとして行っている「FHと過ごす日」や、全国各地に預託しているFHたちとの自由訪問でのふれあいの他、安全指導を含む馬との接し方・乗り方の講習会の開催、及び、FHにゆかりのある牧場や引退競走馬たちを訪ねる見学ツアー等を実施しています。

また、「再就職支援プログラム」では、引退競走馬の初期馴致を行い、適材適所への譲渡活動を行っています。

- ① 「FHと過ごす日」の開催
- ② 乗り方指導・馬の接し方講習会
- ③ 専門家を招いての指導

①～③は「FHと過ごす日」の開催に合わせて、馬の専門家を招いて馬への理解を深める活動を行っていますが、今年は「FHと過ごす日」を開催することができませんでしたので、専門家を招いての指導も行うことができませんでした。イベントの実施はできませんでしたが、乗馬倶楽部イグレットの団体会費は経費として発生しています。

④「引退競走馬再就職支援プログラム」による安全に接することができる馬の調教「再就職支援プログラム」の実施と卒業生見守り

再就職支援プログラムは、引退した競走馬に対し、人と穏やかに暮らすための馴致調教を行うプログラムです。人間に引かれてゆっくり歩くことができる練習や、乗馬としての常歩・速歩・駈歩を指示通りにできる基礎的な運動などを通しておおよその馬の性格や能力を把握し、それぞれの馬に適した場所へ譲渡することを目指し、譲渡する馬と譲渡先とのミスマッチを防ぐために大変有効なプログラムと考え、継続して行っています。

	馬名	プログラム期間	調教施設	譲渡先(繋養先)
19期生	チャツミムスメ	2019/4/26-2021/8 見込み	北海道 エクワインファーム	福岡大学馬術部
21期生	マリネリス	2019/9/19-2020/11/30	群馬県 かなやま森林馬事公苑	山形県・個人
22期生	ゴットフリート	2019/10/19-継続中	群馬県 かなやま森林馬事公苑	検討中
23期生	プライムセラー	2019/12/14-2020/11/1	福島県 厩舎みちくさ	福島県・個人
24期生	マイネルラブティス	2020/2/1-継続中	北海道 エクワインファーム	検討中
25期生	トリップオブラブ	2020/8/5-継続中	群馬県 かなやま森林馬事公苑	未定
26期生	シャイニープリンス	2020/10/6-継続中	千葉県 乗馬倶楽部イグレット	内定
27期生	ヴァーゲンザイル	2020/12/15-継続中	福島県 厩舎みちくさ	未定
28期生	ヴァッラータ	2021/1/1-5/31	佐賀県 佐賀県馬術連盟	佐賀県馬術連盟

2020年度は、前年度からの継続馬も含めて過去最多となる9頭がプログラムに参加しましたが、体に痛みや骨のゆがみのある馬、怪我の後遺症のある馬、現役時代から待機中の駆虫ができておらず、大量の寄生虫がみつかかり度重なる疝痛を発症したり、入厩後に治療や療養が必要な馬が続出していました。回復のめどが立たず、乗馬調教を断念したり、いったん獣医療環境の整った地域の牧場に馬を放牧に出したこともありました。

このような状況から、万全の状態プログラムに参加できるように、待機場所にいる間に入厩前の健康診断を行い、治療が必要な馬には治療を施して、入厩可能と判断するまで治療と療養に専念していただくことにしました。

入厩前の馬体検査の費用については引退馬協会が負担し、治療は今のところJRAの奨励金を利用した医療費助成でほとんどの方が賄えています。一頭あたりの医療費助成は10万円とし、去勢手術代は別枠で助成しています。入厩後寄生虫により度重なる疝痛を起こしている馬がいることから、寄生虫検査と駆虫代(回数上限あり)も医療費助成の対象となりました。26期生以降には、事前健康診断の導入により、入厩後スムーズに調教に入れるようになりました。2020年度中に行った医療費助成は、

238,825 円でした。医療費助成は、プログラム入厩後に助成しています。

今後、再就職支援プログラムへ馬を参加させたい方は、待機中の馬については競走生活の疲れを取ることを最優先としていただき、運動は最低限の保健運動にとどめるようお願いしています。また、事前同意をいただき、譲渡ができない馬、体の不具合で養老牧場へ移動する馬についても紹介者(プログラムに馬を連れてきた人)の預託料の一部負担をお願いすることとしましたのでご了承ください。

入厩予定馬の健康診断の実施とともに、卒業生の巡回健康診断も実施しています。体の痛みの対処法やマッサージの仕方など、必要に応じてアドバイスも行っています。2020 年度は、卒業生 6 頭、入厩前診断 4 頭の健康診断を実施しました。

なお、大変残念なお知らせではありますが、第 17 期生のエリモアラルマが、2021 年 5 月 21 日に疝痛のため永眠しました。ご冥福をお祈りいたしますとともに、関係者の皆様にはエリモアラルマを再就職支援プログラムから譲渡先へと繋ぐ為にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。

【2020 年度のプログラム卒業生・譲渡内定馬】



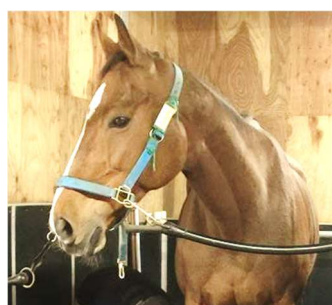
プライムセラー



マリネリス



ヴァッラータ



チャツミムスメ



シャイニープリンス

⑤ 「引退馬の眠る丘」プロジェクト準備

日本各地で亡くなった引退馬たちを、馬産地・日高で供養し偲ぶことができる場所を作れないかとの想いから考え始めた「馬の眠る丘」プロジェクトです。2020 年度内に胆振管内の厚真町にゆかりのある

企業の方から声をかけていただき、視察に行った他、浦河町で今後の候補地として考えたい場所の視察を行いました。地域との連携や行きやすさなどを考慮し、今後も検討を重ねて進めていきたいと考えています。

2)啓発事業

年4回(季刊)発行している会報「RHA 通信」の他に、会の知名度を広め、引退馬についての関心を高めるため、インターネットでの情報発信や、写真展の開催など、さまざまな形での啓発活動を行っています。

① 引退馬に関する情報発信・各種広報活動

フォスターホースの近況や再就職支援プログラムの調教の様子、預託先情報の掲載などのホームページやSNSで発信しました。今年はコロナ禍で預託先の訪問に制限がかかってしまった為、電話やメールでの取材以外については、コロナウイルスの感染拡大の観点から預託先への入場時には必ずマスクを着用し、消毒をする等、防疫に十分注意して行いました。

② 会報(RHA 通信)・活動報告書の発行と送付(印刷版・PDF 版)

正会員(一般会員・FP 会員)、後援会員と、賛同会員のうち会報購読を希望された方に、7 月、10 月、2 月、4 月の年4回、「RHA 通信」を郵送、WEB 閲覧を希望した方へはメールで配信しました。

③ 啓発活動としての写真展等開催

主に競馬場で行っている活動ですが、競馬開催がほぼ無観客となってしまった為、開催することができませんでしたが、各地で開催されたイベントにはフリーペーパーなどの提供を行ったため、一部経費が発生しています。

④ 馬に対する知識を深めるセミナーの実施

開催できませんでした。

⑤ 馬とのふれあいが人にもたらす効果を検証するイベントの実施

実施できませんでした。

⑥ ロゴマーク入りオリジナルグッズの制作販売

イベントの開催見送りで今年は直接販売をする機会がなく、オリジナルグッズの販売を全面的にホースファクトリーへ委託して行いました。特にナイスネイチャ、メイショウドトウ、タイキシャトルなどの人気馬のクリアファイルの売れ行きがよく、併せてトートバッグなども一緒に購入してくださる方もいらして、売上げは大変好調でした。今後もホースファクトリーと連携しながら新商品を開発していく予定です。

⑦ ナイスネイチャ・バースデードネーション

今年も2021年4月16日のナイスネイチャの誕生日から5月17日までの約1ヶ月間、「ナイスネイチャ・33歳のバースデードネーション」として寄付キャンペーンを実施しました。「バースデード

ネーション」とは、お誕生日プレゼントをもらう代わりに応援する団体への寄付をお願いするファンドレイジングの手法のひとつで、近年の SNS の普及によって広まってきました。5回目となる今年は、昨年の「重賞勝ち馬である引退繁殖馬」に加えて、「産駒に重賞勝ち馬がいる引退繁殖馬」にまで支援の対象を拡げました。ちょうどスマートフォンのアプリゲーム「ウマ娘プリティダービー」の配信が始まった時期と重なったこともあり、当初予定していた 2 頭分 200 万円を大幅に上回り、最終的には 16,296 人の方から 35,829,730 円ものご支援をいただくことができました。キャンペーン期間は終了しましたが、継続してご寄付してくださる方も増えましたので、寄付金はさらに増えていきます。一頭でも多くの引退繁殖馬が生きる道を拓くべく、事務局でも日本軽種馬協会が発行している「JBBA ニュース」へ掲載するなどして、受け入れを必要とする馬を取りこぼさないよう、フォローをしていきます。ご協力くださったみなさま、ご支援くださったみなさまに心より御礼申し上げます。

⑧ 英語版ホームページリニューアル
実施できませんでした。

⑨ ドキュメンタリー映画の上映会・意見交換会参加
実施できませんでした。

⑩ 牧場見学マナー啓発活動
「ナイスネイチャバースデードネーション」の実施に伴い、見学マナーを守らない訪問者がふえていることを鑑み、ホームページの「ニュースとお知らせ」とナイスネイチャ・バースデードネーションの活動報告ページにおいて見学マナーやルールを遵守することを呼び掛けました。

3) 引退馬ネット事業

引退馬ネット事業は、引退馬協会による対外支援活動です。引退馬の引き取りに関する単発的な相談のほか、サポートホース団体設立などの長期的なサポートを行っています。

① 馬の引取り相談・サポート

相談してくる方に、引き取り、預託先の紹介や繋養方法などについて適宜アドバイスしています。

② 引退馬繋養団体の引取り後の相談・運営サポート

2020 年度は新たなサポートホースの追加やサポートホース団体の設立はありませんでした。

2020年度 サポートホースの異動

サポートホース	サポート対象	繋養先及び異動
マイネルディンプル	マイネルディンプルサポータークラブ	山梨県・養老牧場(非公開)
メリー	オーシャン愛馬の会	2020年11月17日永眠

サポートホース団体を運営する団体にもJRAの奨励金を還元するべく、サポートホースの医療費助成が始まりました。各団体年額5万円を上限として、繋養中のサポートホースの傷病や怪我の治療にかかった獣医療費を助成しています。JRAの奨励金支給に合わせ、引退馬協会の年度をまたぐこととなりますが、1月～12月(2020年は2月スタート)を申請期間とし、10頭のサポートホースに総額276,434円を総額で支給しました。2021年1月からはあらたな助成が始まっています。

*サポートホース団体の運営をする牧場が独自にJRAの奨励金を受給している場合は、二重の助成となるため、支給対象から除外しています。

4) フォスターペアレント(FP)事業

FHが終生穏やかで幸せに元気に暮らせるように支援していただく里親＝フォスターペアレント(以下、FP)制度によって、FHたちを安定していく繋養する、引退馬協会の基幹事業です。里親制度の運営、集いの場の提供、FHの預託など、FHに関わる事業はすべてFP事業となります。

① 引退馬の繋養を支える里親制度の運営と集いの場の提供

里親制度ではナイスネイチャ・バースデードネーションの時期に多くの方からのご入会がありました。特にネイチャ、ドトウ、シャトルの3頭に集中し、口数が満口を大きく上回ってしまったことから、他のFHへのご支援へ繋がるように3頭の募集は一旦受付を停止しています。

集いの場の提供については、例年、夏の「FHと過ごす日」に行う一品持ち寄りバーベキュー大会や新年会は開催できませんでした。

② FHの繋養

新規のFHとして、前期より騎馬隊退役馬として見守ってきた響輝(ロードシンフォニー)を9月よりフォスターホースとしてFP会員の募集を開始しました。繋養先は当初からお願いしていた群馬県の乗馬クラブアリサです。響輝は慢性のフレグモーネが時折悪化することがありますので、こちらも気をつけて見ていただいています。

10月にはエイシムルーデンス(繋養先:渡辺牧場)を「ナイスネイチャ32歳のバースデードネーション」での支援馬として受け入れました。当初ホーストラストへ預託する予定でしたが、両後肢の球節が落ちていて肢に問題を抱えており、ホーストラストの緩傾斜地での放牧は難しいと判断して、高齢馬の

預託に経験の深い渡辺牧場へ預託しています。

8月にプリサイスエンド(繋養先:ノーザンレイク)を外国産種牡馬支援として受け入れましたが、2月よりFP会員の募集を開始した矢先残念ながら3月18日に急逝しました。死亡原因を特定するため、日高家畜保健衛生所において解剖し、右側第3後臼歯の歯根膿瘍からの副鼻腔炎(上顎洞炎)と最終的に診断されました。この場をお借りして当会へ繋いでくださった方、ご支援くださった方々に御礼申し上げます。

2月にはツクバアズマオー(繋養先:NPO 法人ホーストラスト)を受け入れました。ツクバアズマオーは現役時代からずっと気にかけていて、穏やかな余生を暮らさせてあげたいと思っていたファンの方の仲介で管理していた打越調教師とお話をさせていただき、縁あってフォスターホースとなりました。2月27日にホーストラストへ無事到着し、元気に過ごしています。

5月にはナイスゴールドと被災馬のコテツ(ルーージュビクトリー)を受け入れました(コテツは被災馬FHに後述)。ナイスゴールドは渡辺牧場生産のナイスネイチャの初年度産駒です。乗馬を終えて渡辺牧場へ帰郷し、蹄葉炎の治療を受けているのを道東の視察時に沼田代表と加藤専務理事が見て、経済的なことを心配せずに治療に専念させてあげたいと考え、渡辺さんに申し出て、フォスターホースとして受け入れることとなりました。

【2020年度年中に受け入れた新規フォスターホース】



響輝



エイシンルーデンス



プリサイスエンド
2021年3月18日永眠



ツクバアズマオー



ナイスゴールド



コテツ(被災馬FH)

新型コロナウイルスの影響で休止が相次いでいた預託先での見学訪問受け入れも少しずつ再開していたところでしたが、依然として感染の終息は見えない状況で、各地で緊急事態宣言や蔓延防止措置が解除されない状態が続き、預託先では見学を制限する状態が続いています。

33歳とフォスターホース最高齢となったナイスネイチャは、高齢だけに心配な面もありますが、不安のあった起立も上手にできるようになり、相棒のメテオシャワーと仲良く渡辺牧場で日々を送っています。メイショウドトウとタイキシャトルは、2021年6月16日に、より会員のみなさんと身近に接していただけるよう、それまでお世話になった日高町のヴェルサイユリゾートファームから新冠町のノーザンレイクへ移動しました。既に新しい環境にも慣れてきたようですが、引き続きノーザンレイクでも注意して見てくださっています。エアリカコも引退馬ネットのサポートホースのミラキュラスと仲良く沖田忠幸牧場の分場で元気に暮らしています。群馬ではフォスターホース2番目の高齢馬になった32歳のキョウエイボーガンは響輝とともに、乗馬クラブアリサの中山オーナーご夫妻のもと、多くの会員さんが訪ねてくださり、おやつをもらったりお手入れしてもらったり、可愛がっていただいています。ボーガンは年齢だけに気温の高低差が激しい時には体調を崩しやすくなっていますが、食欲は旺盛で元気になっています。千葉では、3歳でフォスターホースになったハリマブライトが26歳になりました。5月に疝痛を起こしましたが大事には至らず、相棒のジェニーと共に毎朝の自由人(引き手をつけずに自由に敷地内を歩き回る)放牧を楽しんでいます。17歳になったコアレスピューマもますます体調よく黒い馬体も艶々と元気に過ごしています。ルックトゥワイスは重賞勝ち馬だけに気の強いところを見せることがあります、お手入れの時などはとてもおとなしく、ツンデレなところがかわいいとスタッフさんに言われています。茨城のヒポクリニックではバンダムテスコがスタッフの小泉さんと盤石の信頼関係を築き、まるで全盲というハンデなどないかのように放牧仲間たちと楽しい日々を送っています。

今後は高齢化が進むFHの健康状態をチェックするため、専門家による馬体検査や健康診断を定期的に行い、異常が認められた時には早めに適切な処置をしていきます。

③ FHに関わる情報発信と会員向け「FHレポート」の発行

FHに関わる情報発信として、FHレポートを、RHA通信を発行した7月、10月、2月、4月を除く計8回、FP会員に郵送及びPDF版で発行しました。会のホームページ内の近況報告ブログとFacebook、Twitterを連動させて、随時、各FHの近況報告を発信することも引き続き行っています。

④ FHカレンダー制作販売

「2021年FHカレンダー」は1300部制作しました。FHが増えたことから、4ページ増やしてグラビアページを追加した他、引退馬ネットのサポートホースの誕生日も掲載するようにしました。掲載したフォスターホース写真は、印刷間際に引き取りが決まったプリサイズエンドを除き、プロカメラマンの朝内大助氏に提供いただき、好評をいただきました。

例年どおりFP会員に会員特典として贈呈したほか、2020年10月から一部1,000円で販売したとこ

ろ、年内に完売し、購入を希望する方に行き渡らないケースがあったことや、FP 会員が大幅に増えたことから、2022 年カレンダーは印刷部数を増やす予定です。

カレンダーの売上は啓発事業収益に含まれています。また、無償配布分と収益事業の売上分の経費管理のため、税務申告の都合上かかった費用の 50%のみカレンダーの経費とし、残りはプレゼント分のため「会員制度」として経費を管理することになりました。

⑤ 被災馬 FH 預託

東日本大震災で被災したコッチャン(トーセンクレイジー、14 歳)、ハーモニイトセチャン(年齢不詳)、ハーモニイフラ(年齢不詳)を鹿児島県のホーストラストに、おにくん(ナイキプラネット、15 歳)を福島県南相馬市の厩舎みちくさに被災馬 FH として預託し、元気に過ごしています。

2021 年 5 月にはサポートホース団体の「被災馬コテツ〜ルージュビクトリーの会」を解散し、コテツが新たに被災馬 FH に加わり、被災馬 FH は全部で 5 頭になりました。コテツは、サポートホース時代に移動した福島県の川内村の「みどりのまきば」にこれまで同様お世話になります。「被災馬コテツの会」にはこれまでにたくさんのご寄付をいただき、残金として残っています。「被災馬コテツの会」を清算したのち、コテツのための用途指定財産の寄付として受け入れる予定で、コテツにかかる経費に使っていきます。

被災馬 FH の預託にかかる経費は、2014 年度までは被災馬支援基金から支出していましたが、基金の残高が減少したため、2015 年度からは保証金や馬運代など一部の経費を除きフォスターペアレント事業として、被災馬 FP 会員からの会費を中心に支出しています。

5) 協賛及び後援事業

2020 年度は、実施しませんでした。

上記 5 事業から派生するその他事業

① 被災馬支援活動

(1) 被災馬の見守り

東日本大震災から 10 年が経ち、見守っている馬たちも関わっている人も状況が変化してきています。いざというときは被災馬支援基金を利用して、引き取りや必要なサポートを行っていきます。見守り中の被災馬は、今年 2 頭(ダンツムソウ、クレイス)が亡くなり、28 頭となりました。被災馬 FH になったコテツ(ルージュビクトリー)は、所有権が「被災馬コテツの会」から引退馬協会に変わりました。被災馬支援基金は被災馬の見守り費用や引き取り時の馬運代や保証金、緊急の支援金等に使います。残高は指定正味財産として管理しています。コテツの引き取りについては、預託先に変更が

ないため、引き取りの際に馬運代や保証金は発生しておりません。

(2) 被災馬情報発信

被災馬の異動があったときには HP や SNS で情報を発信しています。

② 「次の馬生」支援活動

(1) ハッピーライフカバー配布

引退後に引き取りたいと思っている馬を行方不明にしないため、気にかけている馬の健康手帳につけるカバーです。2020 年度は希望者はありませんでした。

(2) 健康手帳貼り付けシールの作成

実施しませんでした。

(3) 引退繁殖馬の繋養促進支援

エイシンルーデンスを引き取りました。フォスターホースではありますが、初年度の繋養にかかる経費は 2020 年のナイスネイチャ・バースデードネーションの寄付を充てています。2020 年 12 月までは川端英幸牧場のご厚意で預託料や獣医療費を免除していただいておりますが、2021 年 1 月からは費用が発生しています。また、2020 年のナイスネイチャ・バースデードネーションでは、2021 年の産駒の離乳を待って、前田ファームよりクイーンステークス(G3)を優勝し、引退後は繁殖に上がり 11 頭の産駒を出産したアサヒライジングを引き取ることが内定しています。

(4) 協会からの譲渡馬見守り

かつて再就職支援プログラム等で引退馬協会が譲渡した馬の健康診断のため専門家を派遣して順次健康診断を実施しています。必要に応じてマッサージや飼養相談もおこなっています。

(5) 騎馬隊退役馬支援

愛知県半田市のエルシー乗馬クラブへ再譲渡をした翔馬、千葉県御宿町のマーサファームでサポートホースとなったハヤテともに元気に過ごしています。

響輝はフォスターホースとなりましたので FH 繋養の項に掲載しています。

2020 年度は騎馬隊からの退役馬支援依頼が 1 頭ありましたが、受け入れ先が決まったので協会からの支援はありませんでした。

(6) RRC 関連

「RRC-引退馬競走杯」は、全国乗馬倶楽部振興協会が、引退競走馬のセカンドキャリアを支援するため、引退競走馬所有奨励競技会として開催しているレースです。今年は残念ながら会として現地観戦することは叶いませんでしたが、引退した競走馬達が出走するレースとして今後も情報発信を行うと同時に、新型コロナウイルスの感染拡大が終息したらまたみなさんと応援観戦にも行ければと考えています。

(7) 助成金対象の種牡馬・繁殖馬支援

エイシンルーデンスの引き取りについては(3)に記載しました。

③ 引退馬連絡会

引退馬支援にJRAが舵を切ったことで、連絡会の役割も終了し、現在はホームページを運営するのみになっています。今後活動として継続していくかは模索段階です。

④ 根岸競馬場跡保存活動と協働による啓発活動

2019年度はスケジュールが合わず、2020年度はコロナ禍と2年連続してイベントの開催ができませんでしたが、水面下では一等馬見所の保存の実現に向けて様々な動きを行っています。先だつては保存活動を推進している横浜市の団体のスタッフが本部を訪れ、これまでの活動についてのヒアリングを行い、今後、連携して活動していくことをお互い確認しました。

その他の事業(営利事業)

2020年度は実施しませんでした。

2021年度に向けて

2020年度は新型コロナウイルスに明け新型コロナウイルスに暮れた1年となってしまいました。未だ感染が収まる見通しが立たない為、ふれあいイベントやセミナーの開催の見通しが立たず、預託先をご訪問いただくにも制限がつく状況ではありますが、引退馬協会の大きな柱であるフォスターホース事業、引退馬ネット事業、啓発事業に加えて、2021年度はナイスネイチャ・バースデードネーションにお寄せいただいたご寄付を活かして一頭でも多くの引退繁殖馬を救うことを念頭に置いて活動をしていきます。

またフォスターホース達が穏やかな環境のもと、健全で高いQ.O.Lを維持して生活していけるよう、最善を尽くしていく所存です。2020年度に引き続き、事故を未然に防止する為に牧場の見学マナーの向上についても尽力して参ります。

横浜支部では2020年に採用したパート職員1名を正職員に登用し、増え続ける業務に迅速かつ丁寧に対応できるように効率化を図っていきます。

今後とも引き続き、ご支援いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。